

鵜住居地区住民説明会 (復興まちづくり協議会・地権者連絡会)

平成30年10月27日(土)
13:30～

開催場所：鵜住居地区生活応援センター

次 第

1. 挨拶
2. 本日の趣旨
3. まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて
4. 住宅再建に係る補助制度について
5. 片岸 8 号線及び(仮称)恋の峠公園線の道路改良事業について
6. 鵜住居地区消防屯所建設事業について
7. 市有地活用事業選定事業者の辞退について
8. 鵜住居地区商業施設の整備について
9. 鵜住居駅前地区公共施設（うのすまい・トモス）の
進ちょく状況について
10. 釜石鵜住居復興スタジアム整備と
オープニングイベント開催結果について
11. 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について
12. 意見交換

1. 挨拶

2. 本日の主旨

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。
今回の鵜住居地区住民説明会（復興まちづくり協議会・地権者連絡会）は、

- まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて
- 住宅再建に係る補助制度について
- 片岸8号線及び(仮称)恋の峠公園線の道路改良事業について
- 鵜住居地区消防屯所建設事業について
- 市有地活用事業選定事業者の辞退について
- 鵜住居地区商業施設の整備について
- 鵜住居駅前地区公共施設（うのすまい・トモス）の
進ちょく状況について
- 釜石鵜住居復興スタジアム整備と
オープニングイベント開催結果について
- 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について

について次第に沿って説明させていただきます。

3. まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて

鵜住居地区 まちづくり計画

【進捗状況 朱書:整備中】

◆安全・安心の確保

- ①市街地は平均1.7m程度嵩上げ
- ②国道45号を円滑な線形に整備
- ③水門及び防潮堤(標高14.5m)を整備
- ④公園は、地域の祭り利用等を想定し配置
- ⑤道路整備に併せて、上下水道施設を整備
- ⑥宅地が区画道路に接道するように配置
- ⑦道路・街区計画に合わせた用水路整備

◆公共施設の整備

- ①安全な高台に整備する小中学校・幼稚園、防災まちづくりの拠点整備
- ②復興公営住宅は10ヶ所に配置120戸(集合75戸、戸建45戸)
- ③被災した市内スポーツ施設(体育館)の建設やラグビーワールドカップ開催に向けたスポーツ拠点施設の整備
- ④生活応援センター、集会施設、消防屯所の整備
- ⑤交流拠点施設などの駅前エリアの整備

◆産業の再生、震災メモリアルの継承

- ①震災メモリアル施設の整備
- ②鵜住居駅周辺を中心とした商業集積、栗橋から箱崎半島全体のにぎわい交流拠点の整備

新神地区
集会所・消防屯所

土地区画整理事業
49.2ha

津波復興拠点整備事業
(駅前エリア) 2.3ha
うのすまい・トモス
・釜石祈りのパーク
・いのちをつなぐ未来館
・鵜の郷交流館
・体育館

鵜住居地区
消防屯所(建設中)

津波復興拠点整備事業
(一部災害復旧事業)
(山側エリア) 14.1ha
・新小中学校
・幼稚園

下水処理場

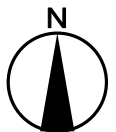
釜石鵜住居復興
スタジアム

復興公営住宅
集会施設
生活応援センター

● 復興公営住宅(集合)

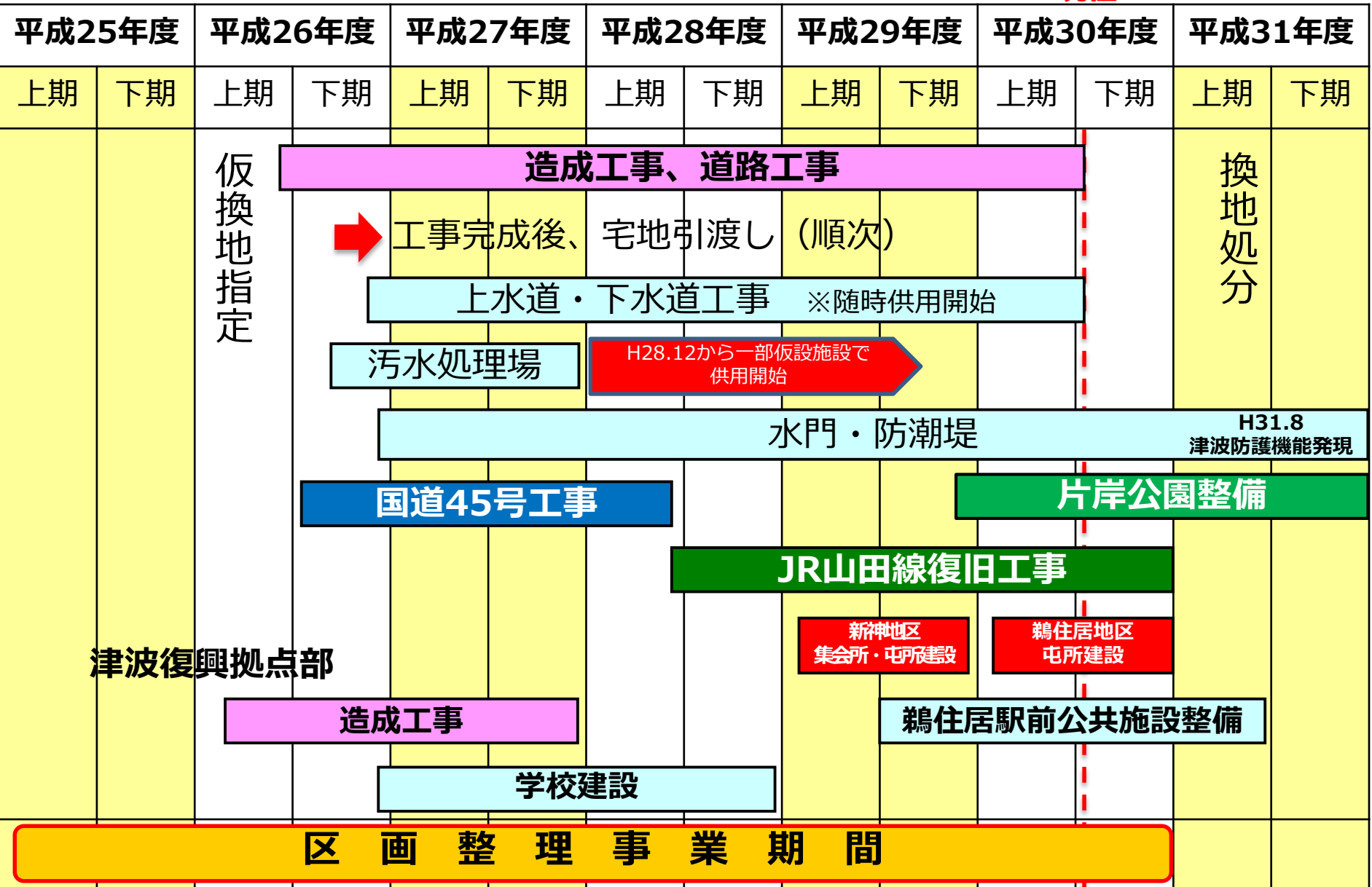
● 復興公営住宅(戸建)

※現時点での計画であり、今後の手続き等において変更があります。



工事スケジュール

現在 鵜住居地区



※ 状況に応じて変更することがあります。

宅地造成状況（寺前交差点方面）



整備後（平成30年9月時点）

道路整備状況（ございしよの里付近）



整備後（平成30年9月時点）

道路整備状況（鵜住神社付近）



整備後（平成30年9月時点）

道路整備状況（鵜住居こ道橋）

整備中（平成29年12月時点）



整備後（平成30年10月時点）



鵜住居駅前公共施設(うのすまい・トモス)整備状況



整備中（平成30年10月時点）

水門整備状況

整備中（平成29年4月時点）



整備中（平成30年9月時点）



新神地区集会所・消防屯所



平成30年2月完成

整備中（平成29年12月時点）

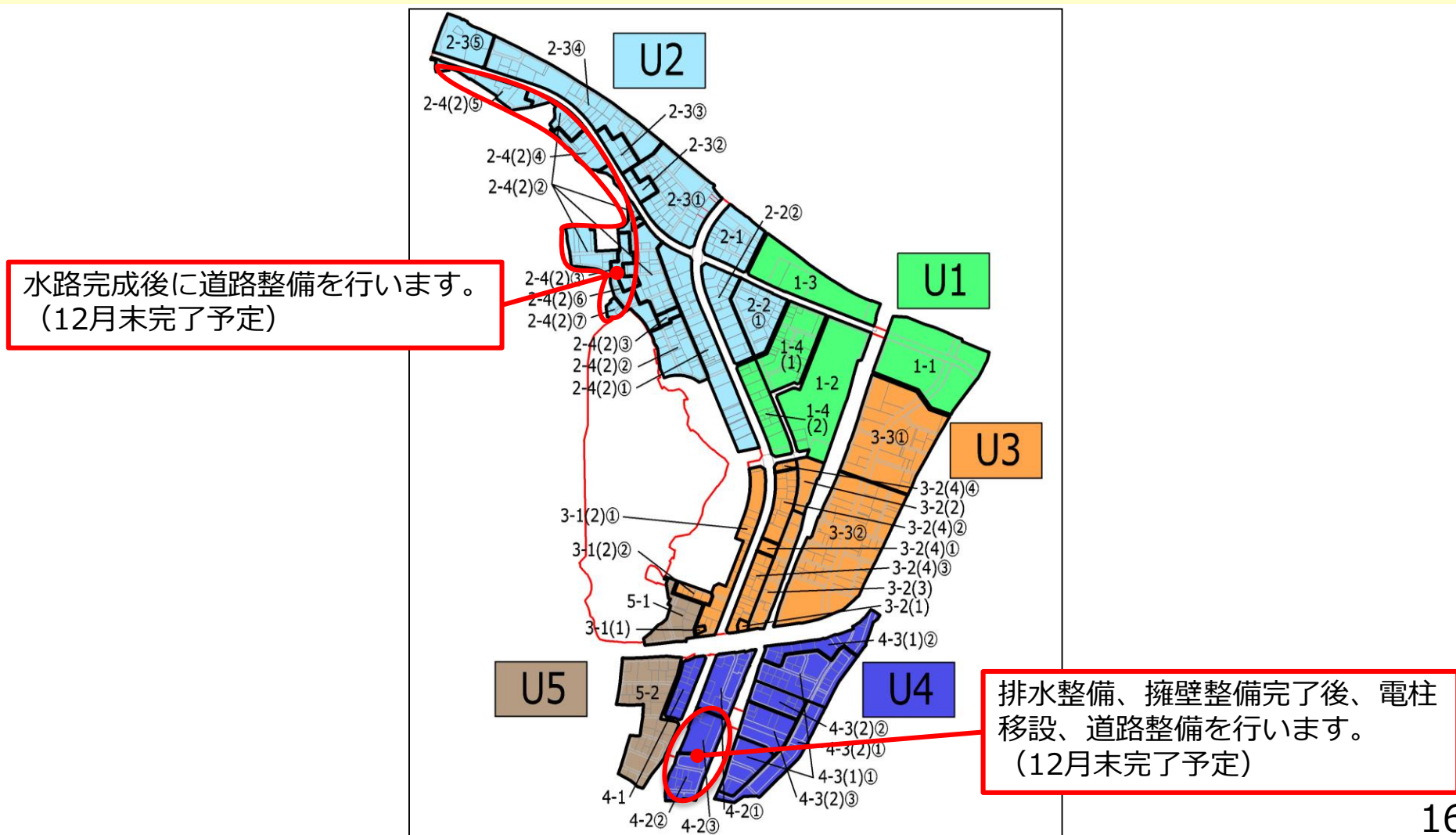


整備後（平成30年9月時点）



宅地の整備状況について

- 宅地の整備は一部の工区を除き概ね10月末に完了する見込みとなっております。
※ 2-4工区（日の神水路付近）および4-2工区周辺（薬王堂南側付近）など一部の宅地について、引渡しが遅れ、ご迷惑をおかけいたします。
宅地引渡し時期については、地権者の皆様のご要望に沿えるよう調整しております。



町界町名変更案の決定について

- 平成30年1月に開催した住民説明会でご了解いただいた町界町名の変更案が平成30年6月の市議会で可決されました。
- 町界町名地番（住所）の変更は「**換地処分の公告の翌日**」に実施されます。

町界町名変更案

- 町の区域は5つの町に分割する。
- 「鵜住居町」と「丁目」で表記する。
 - ・ **鵜住居町 1丁目～5丁目**
※登記簿上の丁目の数字は漢数字になります。
- 地番は、従来の町名の地番と重複しないよう街区ごとに100番単位で設定する。
 - ・ 地番の例
101番、102番… 201番、202番、
1001番…1102番…2202番…

表示の例

鵜住居町1丁目 8 0 1 番地
鵜住居町1丁目 1 0 0 1 番地



土地区画整理事業の換地処分に向けた流れ

■ 土地区画整理事業の事業完了に向け、次のとおり手続きを進めてまいります。

※具体的な時期や詳細な内容については、実施時期に関係権利者の皆様にお知らせします。

順次実施

宅地造成工事の完了



宅地の造成後、測量・境界杭の設置を行います。（概ね2ヶ月程度）

使用収益開始日の通知



従前の土地にかわり、仮換地の使用を開始できる日をお知らせいたします。

平成31年1～2月頃

換地計画（案）のお知らせ



換地計画の案を、土地所有者及び借地権者の皆様にお知らせいたします。

平成31年4～5月頃

換地計画の縦覧及び決定



換地計画の内容を関係権利者の皆様に2週間縦覧します。
縦覧が完了しましたら、岩手県の認可を受けて換地計画が決定します。

平成31年6月以降

換地処分の通知



決定した換地計画の内容を、抵当権者等を含めた全ての権利者の皆様に通知いたします。

平成31年度

換地処分通知から
概ね3ヶ月後

換地処分の公告



「換地処分の通知」が完了すると、県知事が換地処分の公告を行います。
「換地処分の公告の翌日」に町名地番（住所）が変更されます。

区画整理登記



法務局に登記されている地区内全ての土地と建物登記の表題部が、換地の町名、地番、地目、地積等書き換えられます。

換地処分の公告から
概ね3ヶ月後

清算金の徴収交付

工事や測量の結果による面積誤差や、整理前の土地と換地の評価額の過不足を金銭で清算します。

固定資産税の取り扱いについて

- 「津波浸水区域内」で対象と認められる土地・家屋の固定資産税は全額又は1／2を減免することとしておりますが、平成31年度以降は復興事業が完了した地区ごとに段階的に課税となります。

○「津波浸水区域内」の課税時期の見込み

鵜住居地区	未使用の 土地・家屋	使用している 土地・家屋
平成30年度	全額減免	1/2減免
平成31年度	全額減免	1/2減免
平成32年度	1 / 2 減免	課税（減免なし）
平成33年度	課税（減免なし） ※復興事業の進捗状況により減免の継続を検討することを予定しています。	

※詳しくは税務課資産税係にお問い合わせください。

街路灯の整備について

- 街路灯の整備工事は、年度内に完了するよう、11月から施工を予定しています。
- 街路灯の配置は、基本的に主要道路の交差点部を中心に考えております。
- 具体的な整備内容につきましては、今後、地元の皆様と相談しながら決めていきたいと計画しておりますので、引続きご協力をお願い申し上げます。

4. 住宅再建に係る補助制度について

住宅再建に係る補助制度について

東日本大震災で被災した方が住宅を再建する際の補助制度についてご説明いたします。

補助金額は最大値で行っております。なお、補助制度は世帯によって、また該当する制度によって受給できる金額が異なったり、事前に申請が必要となる場合がございますので、個別にご相談ください。

本協議会終了後に個別に相談をお受けします。また、お電話等でも随時対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

【住宅再建相談会】を

平成30年10月28日（日）に大町：青葉ビルで

平成30年11月25日（日）に鵜住居地区生活応援センターで行いますのでどうぞご利用ください。

住宅再建補助金の手続き

着手
工事等契約・融資申込み
工事着工

完成
融資契約（借入）
工事代金支払い

仮設住宅の鍵を返却

申請

補助金交付決定通知

補助金請求

補助金受領
(口座へ振込)

【生活再建支援金】

地域福祉課

申請期限：平成31年4月10日

【加算支援金】

複数世帯200万円

単数世帯150万円

【住宅再建各種補助金】

生活支援室

申請期限：平成32年度まで

【県住宅再建】

複数世帯100万円

単数世帯75万円

【市単独住宅再建】

複数世帯130万円

単数世帯97.5万円

【引越補助】

一律 5万円

【利子補給】

市単独補助金 上限 250万円

【新エネルギー】

【バリアフリー】

40～90万円

①太陽光 上限5万円

【県産材・市産材】

20～140万円

②蓄電池 上限5万円

③ペレットストーブ 上限3万円

【住まいの復興給付金】

同事務局

申請期限：平成34年12月末まで

消費税率引上げ負担分の補助金

最大約90万円

(例：床面積100㎡の家

⇒

51.3万円)

住宅再建補助金の手続き

住宅再建の相談窓口

【生活支援室】

TEL 0193-22-1171

市役所第5庁舎1階

【地域福祉課】（加算支援金）

TEL 0193-22-0177

①保健福祉センター2階

②市役所第5庁舎1階

【すまいの復興給付金事務局】

TEL 0120-250-460

釜石市住宅再建宅地対策補助金について

市の復興事業により整備した事業区域内の宅地の安全性の向上のため、被災者が自宅敷地の安全対策工事を行う場合に要する経費に対し、補助金を交付いたします。

ただし、宅地の所有者から補助対象工事の施工について承諾が得られた者としてします。

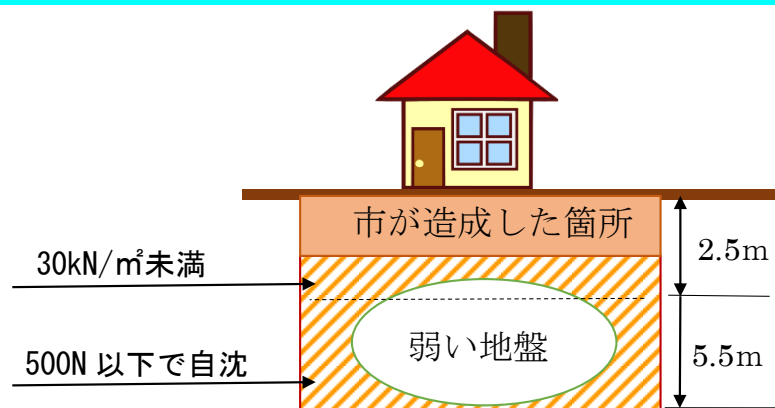
○補助対象工事

- (1) 宅地の弱い地盤に対して行う地盤改良工事
- (2) 高低差1メートル以上の区間内における転落防止柵等の設置工事
- (3) 同一宅地内において高低差が0.5メートル以上ある箇所、この高低差に対する擁壁及び階段を設置する工事

問合せ先

〒026-8686 釜石市只越町3-9-13 市役所第5庁舎2階
釜石市都市整備推進室 管理係
TEL 22-2111(内線468) 27-8437(直通)

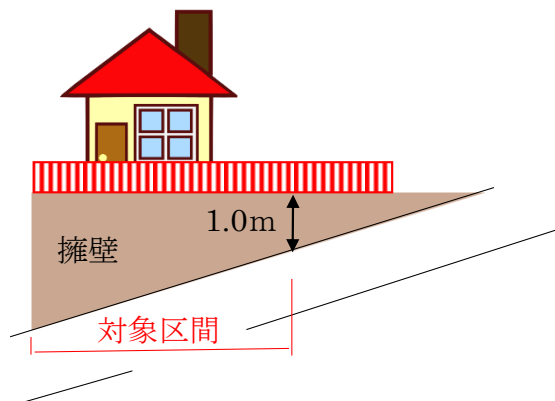
■地盤改良



■弱い地盤

- ・地盤支持力が宅地の仕上げ面から深さ 2.5m 以内において 30kN/m² 未満、2.5m から 5.5m 以内において荷重が 500N 以下で自沈する層がある場合の地盤改良工事
- ・補助対象工事の合計額の 1/2 とし、50 万円を限度

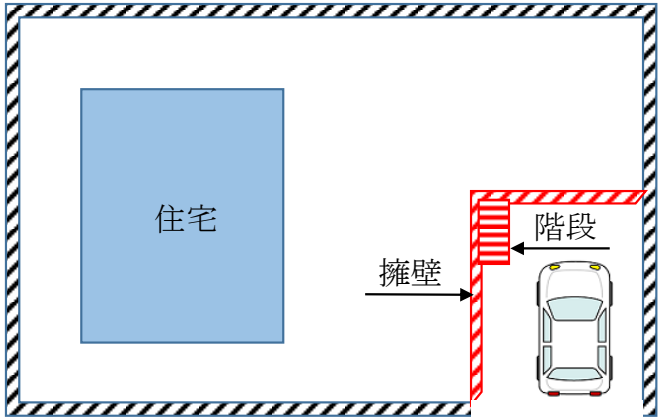
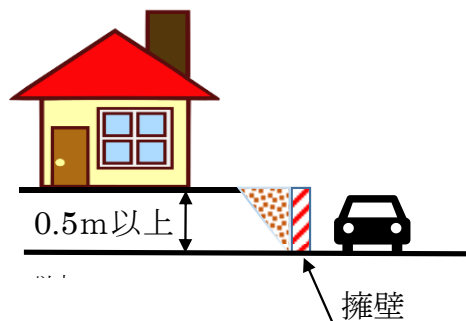
■転落防止柵等



■転落防止柵等

- ・高低差 1m 以上の区間内における転落防止柵等の設置工事
- ・補助対象工事の合計額又は設置延長 1 m につき 10,000 円として積算した金額のいずれか低い金額

■擁壁及び階段



■擁壁及び階段

- ・ 同一宅地内において高低差が0.5m以上ある箇所の擁壁及び階段設置工事
- ・ 補助対象工事の合計額又は市が定める基準のいずれか低い金額

市が定める基準

高 低 差	擁 壁	階 段
0.5m以上 1.0m未満	1m当り 9 万円	1 箇所当り 8 万円
1.0m以上 2.0m未満	1m当り 13 万円	1 箇所当り 10 万円
2.0m以上	1m当り 18 万円	1 箇所当り 12 万円

5. 片岸8号線及び(仮称)恋の峠公園線の道路改良事業について

片岸8号線道路改良事業

1. 事業目的

- ① 東日本大震災により、被害を受けた片岸地区の復興をする。
- ② 地震・津波の際、近接した漁港、市・県・国道、ICを結ぶ避難路線として整備をする。

2. 現在の現場状況

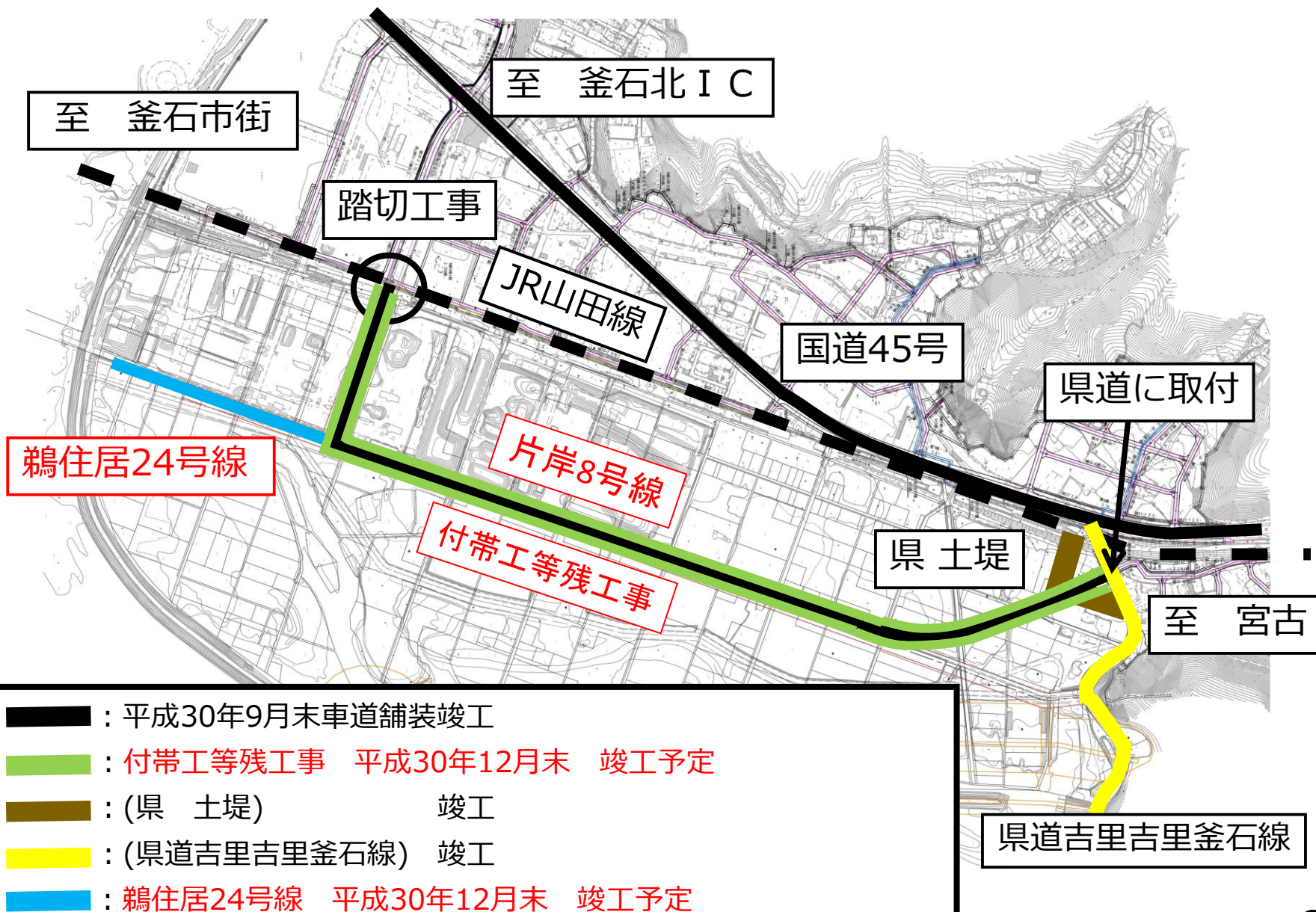
道路計画の見直しにより、工種の増

3. 今後の予定

- ・ 本工事は平成30年9月末に車道舗装を竣工

※その他付帯工等残工事を含め事業竣工を平成30年12月末に変更する

片岸8号線道路改良事業 概略図



【片岸8号線道路改良事業】工程表

[illegible]

：当初工程

修正工程

(仮称) 恋の峠公園線道路改良事業

事業名：(仮称) 恋の峠公園線道路改良事業

事業概要：釜石鵜住居復興スタジアム整備と区画整理事業と併せ
アクセス道路となる市道の嵩上げ、現道拡幅を実施するもの

事業実施年度 平成28年～平成30年度

施工延長 L=1,200m 幅員7.0m～9.5m

【現在と今後の予定】

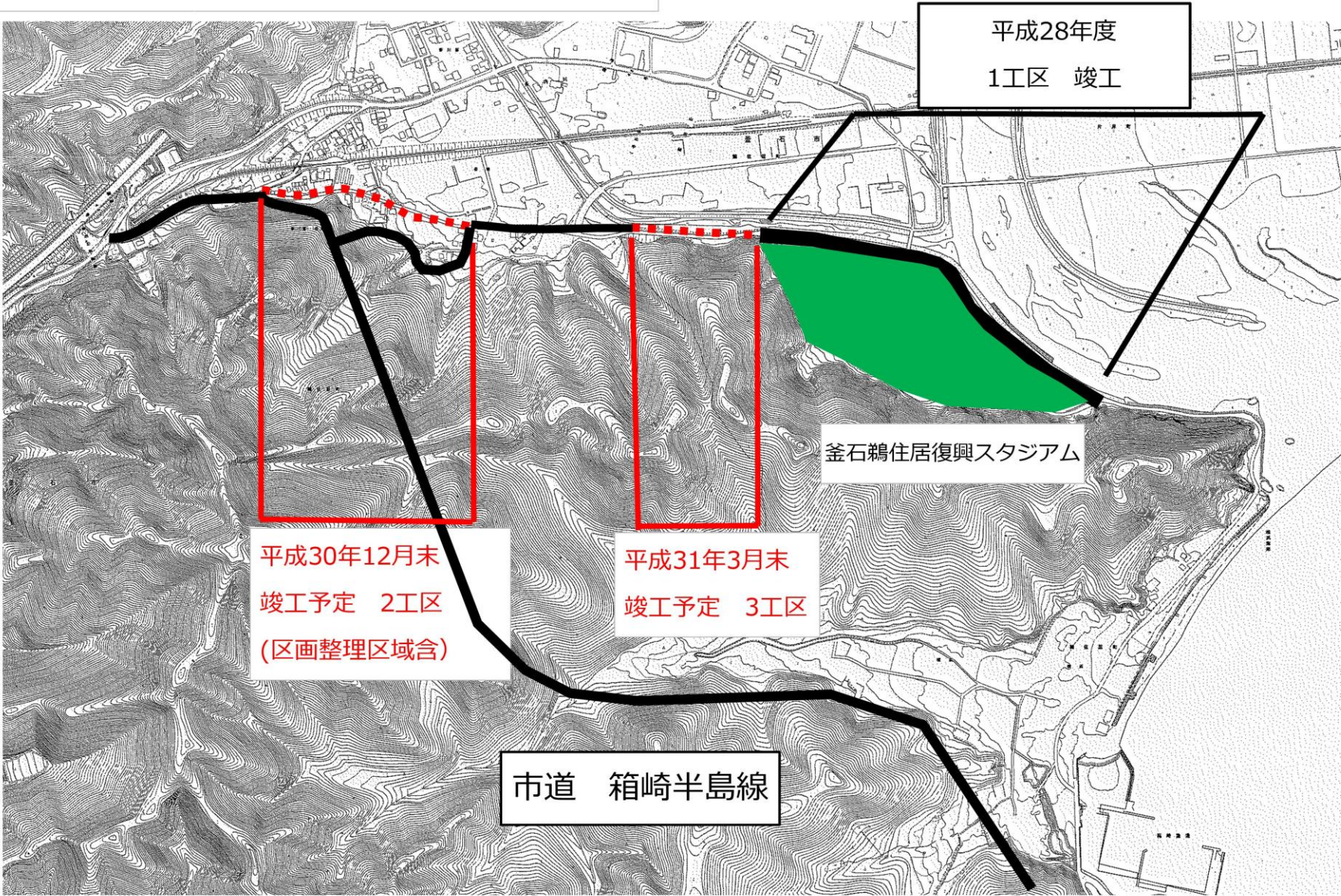
- 釜石鵜住居復興スタジアム横は平成28年度に竣工
- 水路掘削箇所が岩であったため、当初より施工期間が必要となったこと、また河川協議に時間を要し、**事業竣工を平成31年3月末に変更する**

(仮称) 恋の峠公園線道路改良事業 工程表

	平成28年度						平成29年度						平成30年度					
	上期			下期			上期			下期			上期			下期		
道路設計																		
用地買収																		
本体工事（1工区）																		
本体工事（2工区） （区画整理区域含）																		
本体工事（3工区）																		

現在 H30.10
 予定 H30.12末
 予定 H31.3末

(仮称) 恋の峠公園線道路改良事業 位置図



6. 鵜住居地区消防屯所建設事業について

鵜住居地区消防屯所建設事業について

○経緯

東日本大震災で流失した第6分団本部・第1部の消防屯所を、国の補助事業を活用し、復旧整備するもの

○今後の予定

- ①平成30年8月31日 設計業務完了
- ②平成30年10月中 建設工事着工
- ③平成30年度末 工事完成予定

○概要

建設場所：釜石市鵜住居町第13地割（23街区11画地）

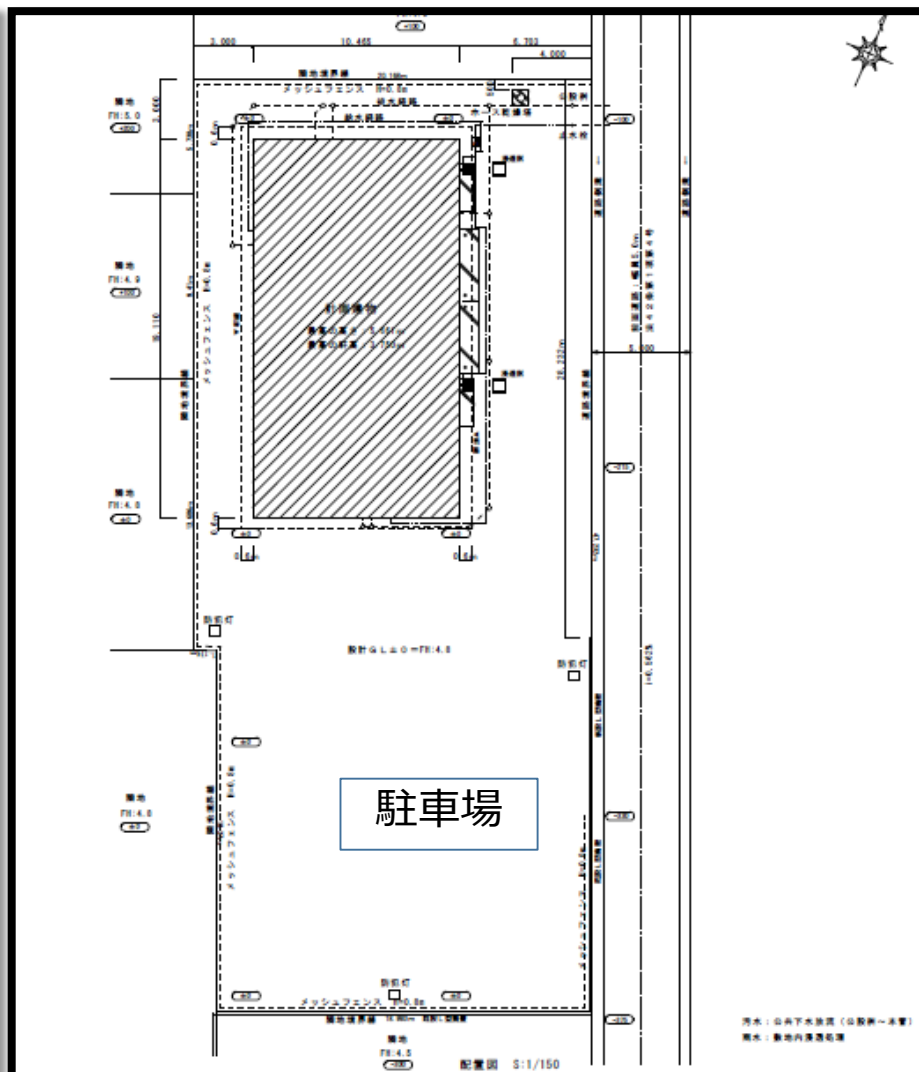
規 模：木造平家建 199.9m²(敷地面積931m²)木一又乾燥塔、掲示板付
消防屯所単独整備（第6分団本部・第1部合築）
駐車場 20台分整備予定

鵜住居地区消防屯所建設事業について

鵜住居町第13地割（仮換地23街区11画地）



建物配置図



屯所平面图



鵜住居地区消防屯所建設事業について

屯所完成予定図



7. 市有地活用事業選定事業者の辞退について

市有地活用事業選定事業者の辞退について

- 平成29年4月24日付けで標記事業者に選定していた有限会社陸中海岸グランドホテルから、平成30年8月17日付けで事業者選定を辞退したい旨の申し出がある。
- 辞退の申し出を認め、新たに今後の当該市有地の利活用について検討を進める。



- 予定していた事業概要：客室137室及び大宴会場を備えたホテルを建設
(開業予定期日は平成31年7月1日)
- 辞退理由：事業者選定に際して市が付した条件に応えられないため。
(附帯条件) 1、維持管理費の担保
2、資金調達の確実性の担保
3、事業の持続性の担保

8. 鵜住居地区商業施設の整備について

鵜住居地区商業施設の整備について

1. 商業施設の概要

鵜住居地域の市民生活を支える商業機能の回復を図るため、津波・原子力災害被災地域雇用創出補助金（商業施設復興整備補助金）を活用し、鵜住居地区に商業施設を整備するもの。

- (1) 施設名称 鵜住居地区商業施設
- (2) 建物構造 鉄骨造平屋建
- (3) 建築面積 1506.72m²
- (4) 事業主体 釜石まちづくり株式会社



2. これまでの経緯、今後の予定

- 平成30年 6月 鵜住居地区まちなか再生計画認定
- 7月 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金申請
- 9月 同補助金採択
- 10月 鵜住居地区商業施設実施設計開始
- 平成31年 1月 鵜住居地区商業施設着工予定

夏頃 **オープン予定**

9. 鵜住居駅前地区公共施設（うのすまい・トモス）の 進ちよく状況について

鵜住居駅前地区公共施設(うのすまい・トモス)の進ちょく状況について ①





祈りのパーク：芳名板



未来館：外観



未来館：内部

釜石祈りのパーク

協議：鵜住居地区祈りのパーク整備推進委員会

【施設】概成/供用開始：H31.3月

- | | | |
|-------------|--------|----------------------|
| ○芳名板・プレート | H30.3月 | 遺族意思確認調査 |
| ○防災憲章モニュメント | 9・12月 | 防災市民憲章制定・
本体作成 |
| ○防災センター跡地碑 | 9・12月 | 本体・説明板 |
| ○駐車場 | H31.8月 | 市民体育館工事用地
として一部使用 |

いのちをつなぐ未来館

協議：鵜住居地区津波伝承施設展示運営委員会

【施設】竣工：12月 供用開始：3月

【展示】

- 展示実施設計 H30.3月
- 工事発注 9月
- 体感的展示の工夫
 - ・津波VR等（空間インターフェイス）ドコモ支援
 - ・映像機器等の購入（ドコモ東北応援社員募金）
 - ・立体地形解析図（道・絆プロジェクト資金）

【事業活動】

- 防災学習プログラムの構築 4月～（Yahoo!基金）
調査等業務委託：かまいしDMC
- ・試行プログラム 東京都高校生の受入 ほか
- 開設準備 ～3月 WEB開設、リーフレット・パンフ等の
作成



交流館：外観



交流館：内部



体育館：外観

鵜の郷交流館

協議：釜石うみやま連携交流推進協議会

【施設】 竣工：2月 供用開始：3月

【施設概要】

○飲食・交流スペース、物販スペース、情報案内スペース、公衆トイレ、広場（建物外）

【出店予定】

○3事業者 4店舗（物販2店舗 飲食2店舗）

市民体育館

協議：釜石市スポーツ推進審議会・
釜石市体育協会・各屋内競技団体

【施設】 竣工：H31.8月

供用開始（一般）：H31.12月

○アリーナ 延床面積 1,459㎡程度

○観客席 776席 （一般席770席・車椅子用6席）

【運営】

○指定管理者
・決定 H31.9月 議会提出

管理・運営

協議：鵜住居駅前地区公共施設管理運営検討委員会

【管理】 供用開始：H31.3月

- エリア・施設名称 8月 公募・決定
- 設置条例 9月 祈りのパーク・津波伝承・観光交流施設
- 施設所管課
 - ・都市計画課 祈りのパーク・駐車場・駅前ロータリー・8号公園
 - ・商業観光課 鵜の郷交流館・駅前広場
 - ・生涯学習文化スポーツ課 市民体育館・いのちをつなぐ未来館
 - ・震災検証室 いのちをつなぐ未来館（当面の間）
 - ・生活安全課 駐輪場

【運営】

- 指定管理者の決定
 - ・公募・選定 9月～
 - ・決定 12月 議会提出
- 協議体の設置 ～H31.3月
- オープンセレモニー 3月



うのすまい・トモス：エリア全体図

【施設】

- サイン整備 ～3月
エリア・施設名・車両誘導サインほか

10. 釜石鵜住居復興スタジアム整備と オープニングイベント開催結果について

1 釜石鵜住居復興スタジアム整備状況

(1) スタジアムの概要

施設の基本データ

- 収容人数: 6,000 席
- 工 期 : 2017年3月15日～
2018年7月31日
- 竣 工 : 2018年7月31日
- 設計者 : (株)梓設計
- 施行者 : 大成建設(株)・新光建設(株)
JV
- 主な施設 ・球技競技場
メイングラウンド(約130m×80m)
サブグラウンド(約120m×78m)
・管理事務棟 (3階建て)
1F:シャワー室、更衣室、医務室、
レフェリールーム、トイレ
2F:テラス
3F:展望デッキ
・駐車場 : 東側142台、西側102台
・屋外トイレ : 2か所
- 整備面積 : 約90,000㎡

➤ 整備の方針

1. 三陸被災地のスポーツ施設不足を解消し、県民が集い、スポーツを楽しめる。
2. 国際・国内スポーツ大会はじめ音楽・芸術・国際交流等多種多様なイベント開催ができる。
3. 常設設備を利用して医療福祉目的の健康体力づくり施設として有効活用できる。
4. 震災の記憶と防災の知恵を体感体験できる。
5. ラグビーV7・RWCLegacyを体感体験できる。
6. 自然環境、歴史文化を野外活動として学習体験できる。
(釜石フィールドミュージアム)

➤ デザインコンセプト

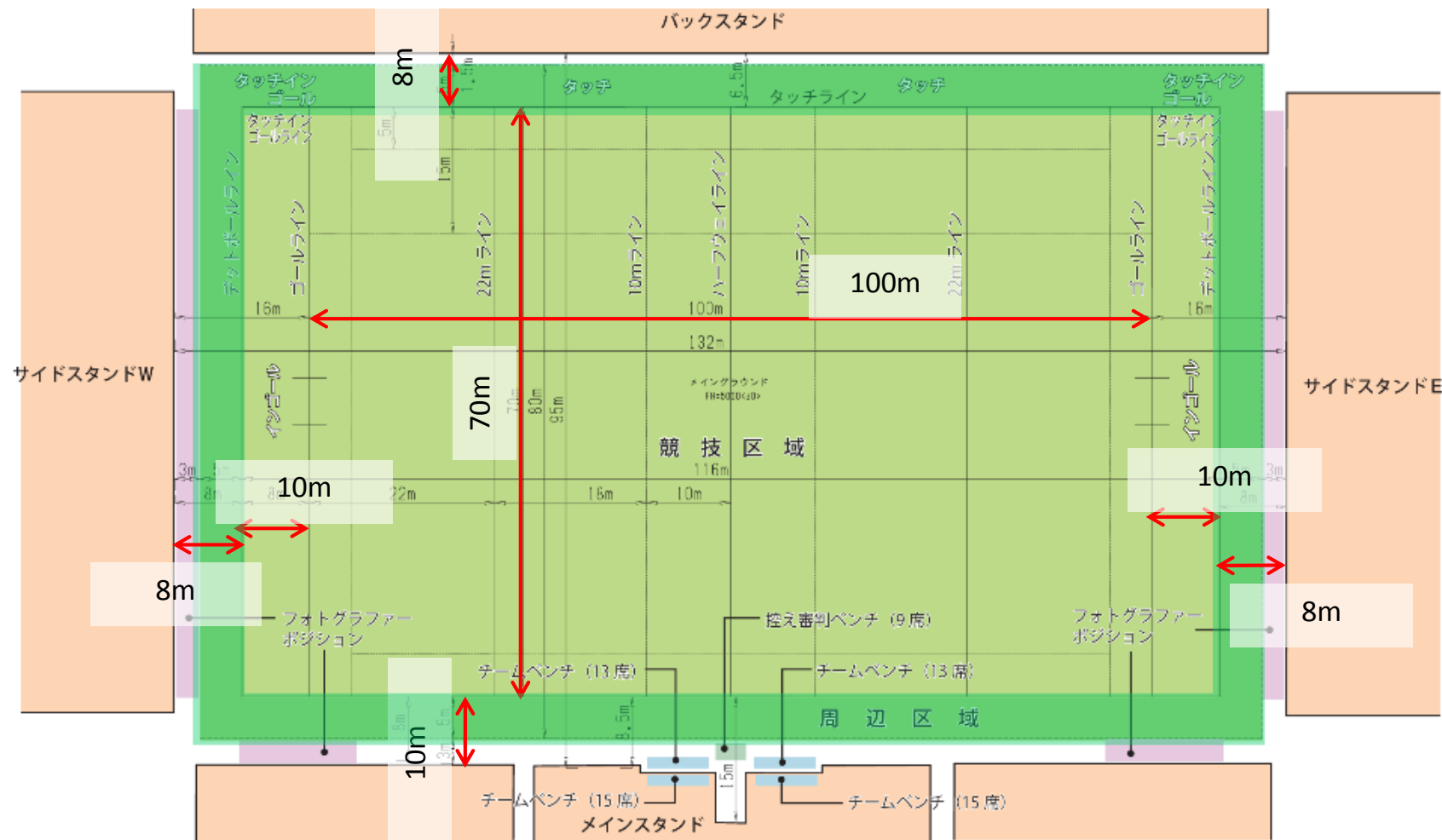
- ・羽ばたき
- ・船出



1 釜石鵜住居復興スタジアム整備状況

(1) スタジアムの概要

ワールドラグビー基準の国際テストマッチ並びにスーパーラグビーの公式戦を実施する事が可能なピッチを保有する



1 釜石鵜住居復興スタジアム整備状況

(1) スタジアムの概要

➤ Strength1 自然と調和した景観

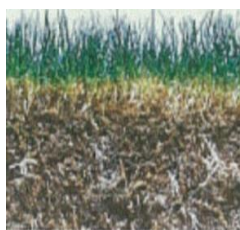


➤ Strength2 地元の森林資源をフル活用

ウッドシート (常設4990席、木質ルーバー)

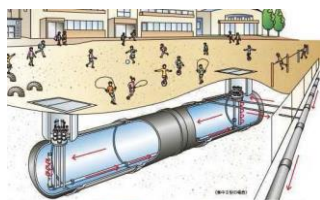


➤ Strength3 ハイパフォーマンスを可能にするフィールド ハイブリッド天然芝 (補強型天然芝)



➤ Strength4 万への備え

耐震性貯水槽 (100t) ・貯留槽 (120t) 、山林作業道を緊急避難路に活用



2 8月19日に開催したオープニングイベントについて

1 リポビタンD 釜石鵜住居復興スタジアムオープニングDAY実施結果

(1) 実施概要

- 9:00～竣工式
- 10:00～キッズラグビー
- 12:00～レジェンドマッチ(新日鉄釜石OB VS 神戸製鋼OB)
- 13:00～オープニングセレモニー
- 14:00～メモリアルマッチ(釜石シーウェイブス VS ヤマハ発動機ジュビロ)

(2) 入場者数: 約6,530人

(3) 救急搬送者: 2人

(4) ライナーバス等チケット購入者数

- ①ライナーバスチケット購入者 619人
 - ②P&Rシャトルバス1DAYパス購入者数 1,797人
 - ③鈴子町シャトルバス1DAYパス購入者数 879人
 - ④P&R駐車場チケット購入台数 517台
- 3,295人

(5) マスコミ取材社(者)数: 72社(者)、205名



2 釜石市民ホールTETTOでのパブリックビューイング

(1) 実施概要

- 12:55～第1部(オープニングセレモニー、レジェンドマッチ)
- 13:55～第2部(メモリアルマッチ)

(2) 入場者数: のべ約500人





○ 8. 19 オープニングイベントの 反省・課題等(主なもの)

○ 全 体

- ・ たまたま天候に恵まれて、災害も発生しなかった。
- ・ 仮設トイレも含めても、トイレの数(特に女性用)が足りなかった。
- ・ 観客席への誘導や導線に問題があった。特にメインスタンド西側から東側に通行できず多くの苦情があった。
- ・ スタジアム内駐車場への誘導がスムーズではなかった。

○ 警備・消防・医療救護・避難関係

- ・ RWC本番を見据えると救護室の数(医師・看護師の数含み)を増やすべき。
- ・ スピーカーがスタジアム内部のみであり、スタジアム敷地内には設置されていなかった。

○ 交通・駐車場関係

- ・ バス乗降場所近くの来場者滞留場所のトイレの数も少なかった。特に女性用。
- ・ 大型バスの導線、乗降・駐車場所の周知が不十分だった。
- ・ 警備員との連携、情報共有がスムーズでなかった。駐車場からバス発着場までの距離が長い。

○ VIP対応・祝賀会関係

- ・ 祝賀会の会場が参加者の数からみて狭すぎた。もっと招待すべき人たちもいたのではないかな。
- ・ スタジアムでのVIP対応が不十分。VIP入口に一般客が殺到した。要人警護の観点からは問題であった。
- ・ イベント従事者が、VIP対応に意識を寄せすぎていたのではないかな。

RWC2019釜石開催に向けた今後の主なスケジュール(予定・調整中)

2018.10.27 トップチャレンジリーグ公式戦「釜石シーウェイブス vs 近鉄」(いわぎんスタジアム)

2018.11.4 トップチャレンジリーグ公式戦「釜石シーウェイブス vs 栗田工業」
(釜石鵜住居復興スタジアム)
トップイーストリーグ公式戦「清水建設 vs 秋田ノーザンブレッツ」

2019.8月頃 テストマッチ開催予定(調整中)

2019.9.25 RWC2019予選リーグ「フィジー vs ウルグアイ」

2019.10.13 RWC2019予選リーグ「ナミビア vs 敗者復活優勝チーム(30.11月に決定)」

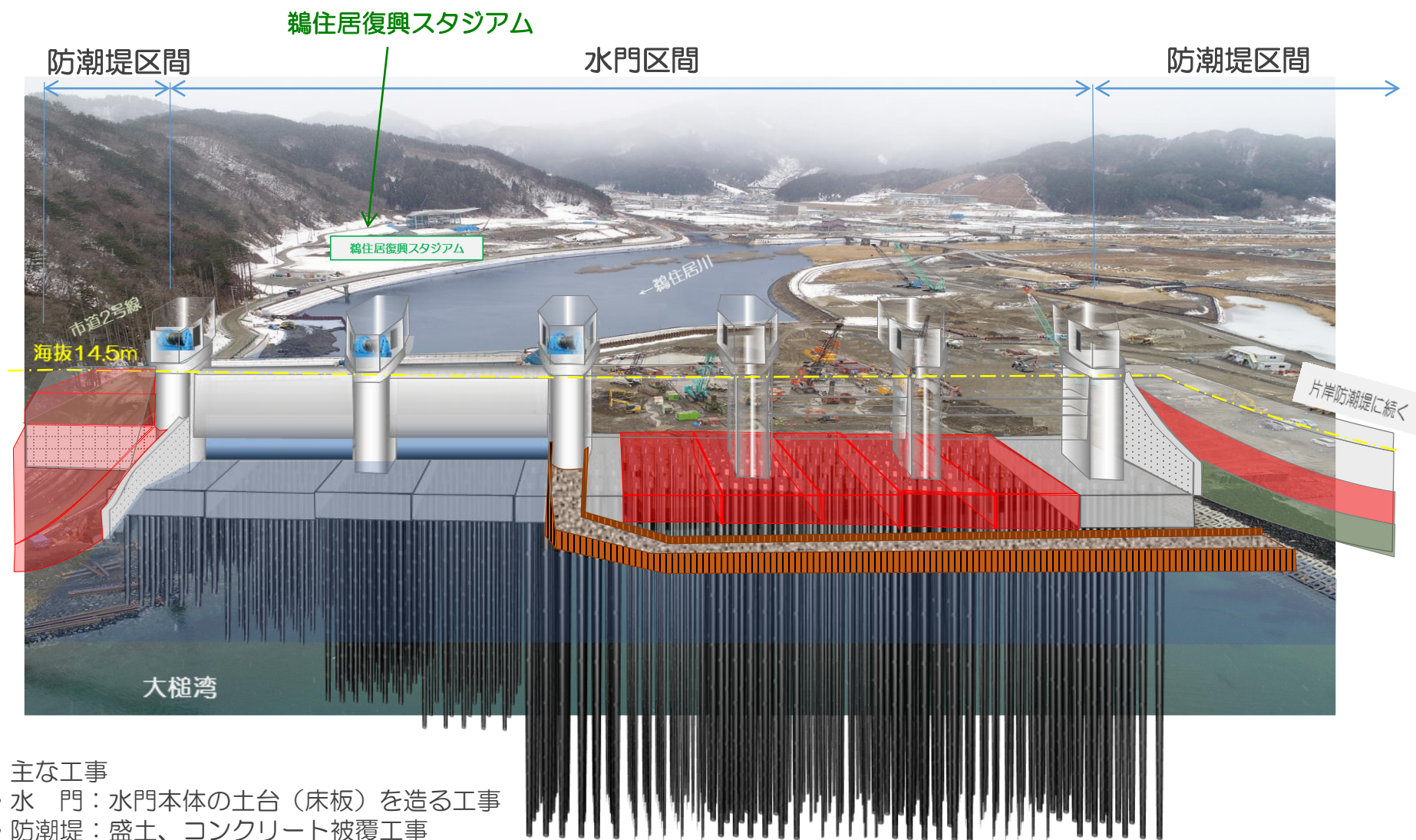


11. 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について

(岩手県沿岸広域振興局土木部)

復旧・復興ロードマップにおける完了時(H31.8末)の防災機能について ～ラグビーワールドカップ開催時の防災対策～





- 主な工事
- 水 門：水門本体の土台（床板）を造る工事
 - 防潮堤：盛土、コンクリート被覆工事
（市道2号線）嵩上げ工事

※本図はイメージであり細部等は異なります。
津波防護に直接関係する施設のみ明記しています。
赤着色部が主要な施工箇所を示しています。

片岸海岸防潮堤及び鵜住居川水門における防護ラインの考え方

至
大
船
渡

岩手県復興ロードマップ

撮影日時 平成30年3月

分野区分	細分項目等	事業主体	路線・箇所名等	事業概要	年度別整備スケジュール										備考	
					第1期 (準備事業期)			第2期 (本格事業期)			第3期 (更なる発展への連結期)			国家與期間		
					H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
			1 甲子川	(三陸高潮水門等)N=1基	用地、設計等	★工事				■H318資料の提供が完了			H318概算予定			
			2 鵜住居川	(災害復旧水門等)N=1基	用地、設計等	★工事				■H318資料の提供が完了			H318概算予定			
			3 片岸海岸	(災害復旧防潮堤等)0.8km	用地、設計等	★工事							H313概算予定			

■ H31.8津波防護機能発現

国道45号

至
大
槌

鵜住居復興
スタジアム

鵜住居川

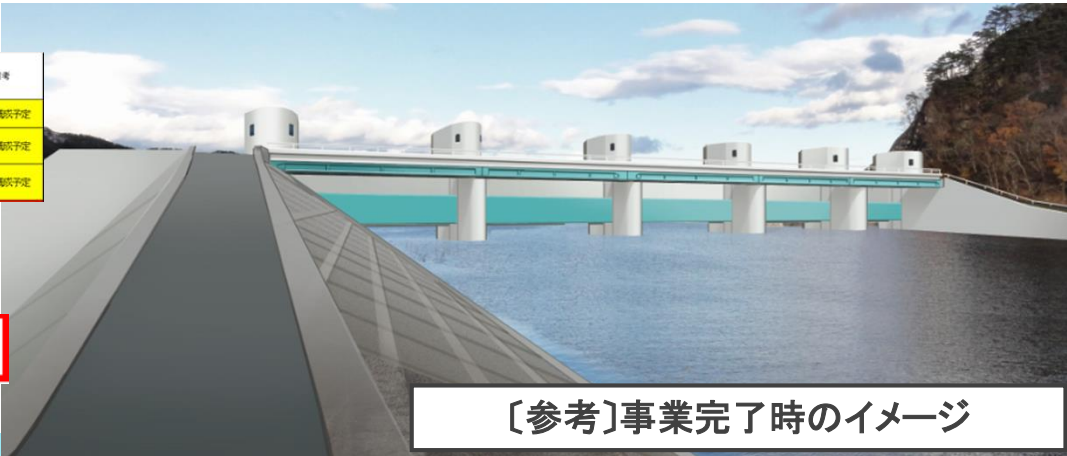
津波防護ライン T.P.+14.5m

鵜住居川水門工事

片岸海岸防潮堤工事

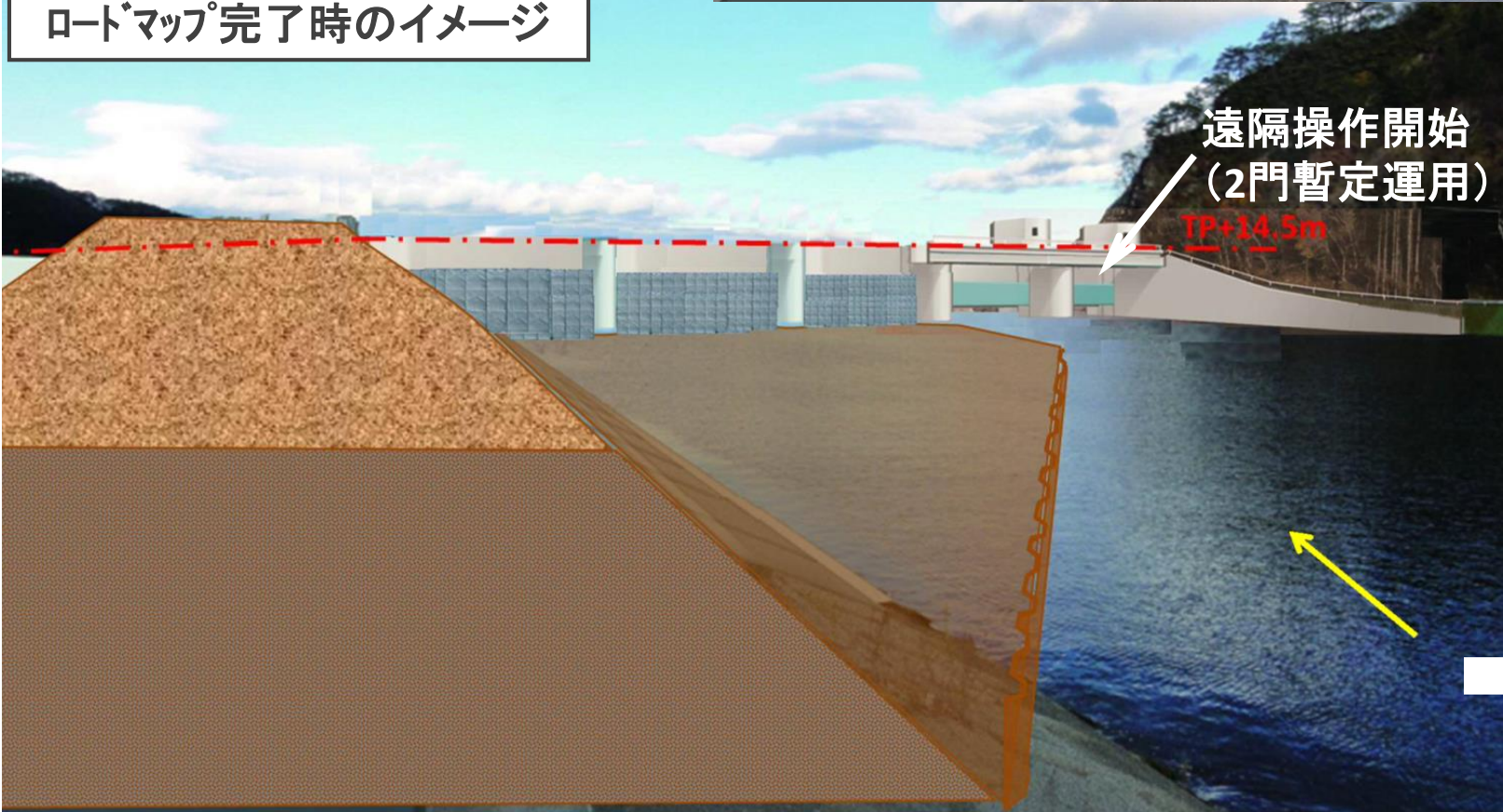
■ 復旧・復興ロードマップにおける完了時(H31.8末)の防災機能の確保

		岩手県復興ロードマップ		津波防護施設スケジュール										備考
分区分分	細分項目等	事業主体	路線・箇所名等	事業概要	第1期 (準備・調査等)	第2期 (基礎工事等)	第3期 (躯体工事等)	第4期 (完成・運用等)	第5期 (完成・運用等)	第6期 (完成・運用等)	第7期 (完成・運用等)	第8期 (完成・運用等)	第9期 (完成・運用等)	
			1 甲子川	(三陸復興 水門等)1基	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	H31.8概算予定
			2 崎江川	(災害復興 水門等)1基	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	H31.8概算予定
			3 片岸海岸	(災害復興 防波堤等)10km	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	H31.3概算予定



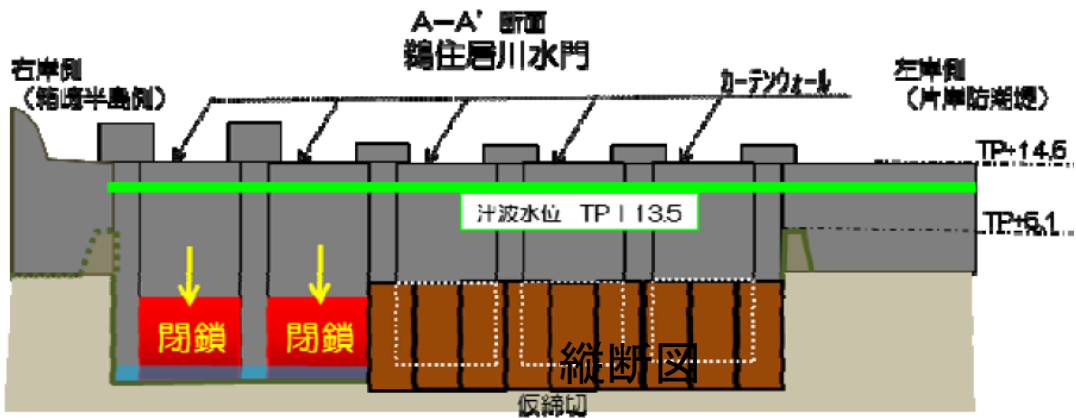
■ H31.8津波防護機能発現

ロードマップ完了時のイメージ



津波対策の検討【鵜住居川水門の場合】

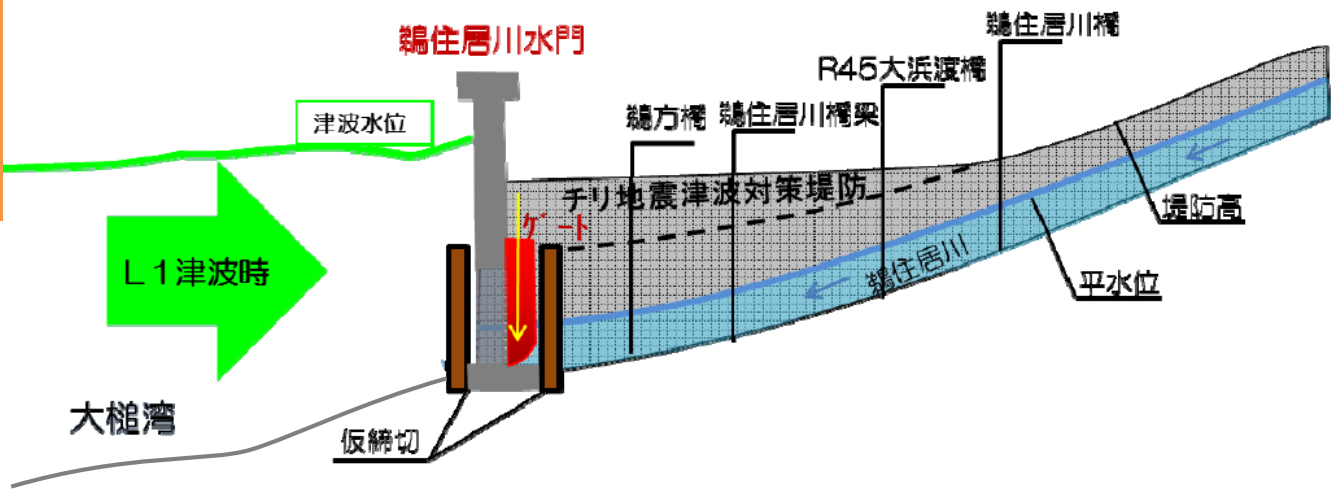
【正面図】



- RWC時点の状況
- ・水門カーテンウォール5門完成 (TP+14.5m)
 - ・水門ゲート5門のうち2門が完全閉鎖
 - ・残り3門は仮締切内にて閉鎖

- 津波検証の条件
- ・潮位 (震災時潮位)
 - ・L1津波 (明治三陸津波)

【側面図】

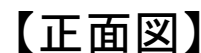


- ・ 水門完成時と同等の機能を確保します。

洪水対策の検討【鵜住居川水門の場合】

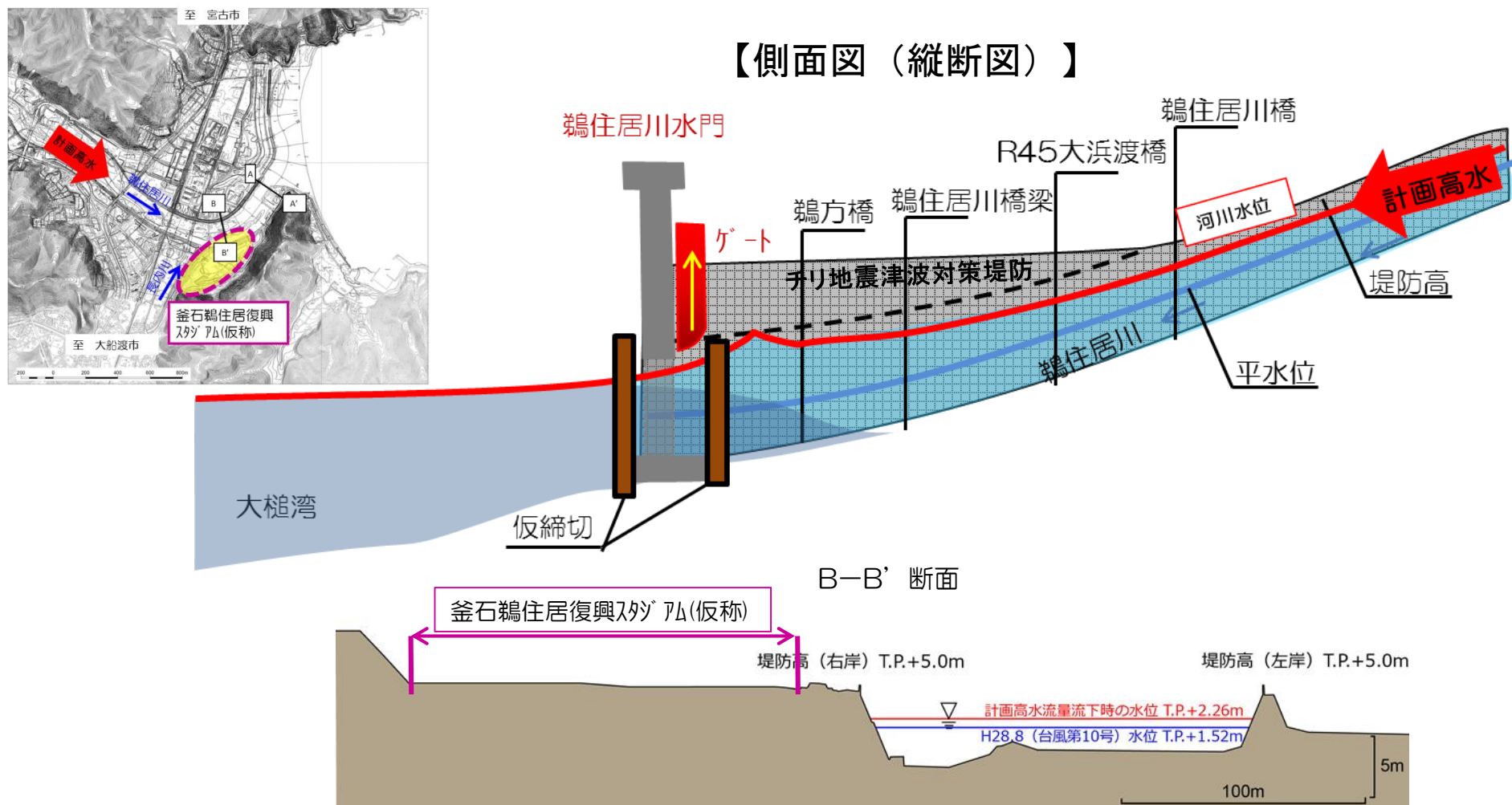
- ・水門カーテンウォール5門完成(TP+14.5m)
- ・水門ゲート5門のうち2門を開放
- ・残り3門は仮締切内にて閉鎖

- ・計画高水流量1,000m³/s
⇒1/50年確率の洪水
- ※参考：H28 台風第10号流量721m³/s
⇒概ね 1 /30年確率の洪水



■ 復旧・復興ロードマップにおける完了時(H31.8末)の防災機能の確保に係る検討

洪水対策の検討結果【鵜住居川水門の場合】



- 前述の条件で計算した結果、スタジアムを含む上流域で越水しない。
- 平成28年8月の台風10号相当の流量においても安全である。

片岸海岸防潮堤・鵜住居川水門周辺の整備について(イメージ図)

水門右岸乗越し道路を工事中です。
⇒H31年4月から一部通行可能

市道2号線

※完成イメージ

鵜住居復興
スタジアム

片岸公園

旧堤防を残します。
新堤防と旧堤防の間を埋めます。

歩けるようになります。
⇒安全のため手摺を整備

旧堤防

新堤防

12. 意見交換
